



令和6年6月定例会委員会報告 .....	P 2
令和6年度補正予算 .....	P 3
特別委員会報告・令和6年4月臨時会・6月定例会(議決結果) ..	P 4
一般質問 .....	P 6
総務民教委員会視察報告 .....	P 18
市民と議会の懇談会開催のお知らせ .....	P 19

まぐろ感謝祭を盛り上げた大漁こども太鼓と大漁太鼓



# 常任委員会での質疑・意見

## 【総務民教委員会】

「印鑑条例の一部を改正する条例制定」

マイナンバーカードを利用して、市役所に設置した端末から各種証明書を取得できる「らくらく窓口サービス」を導入するもの。「コンビニエンスストアで取得する場合との違いは」など質疑がありました。

## 【経済厚生委員会】

「住宅・建築物耐震化促進事業補助金の改定について」

能登半島地震を踏まえ、従来の「地震による倒壊を防ぐ対策」に「倒壊から命を守るための対策」を加え、高齢者などにも取り組みやすい命を守る耐震化支援を提供するために、「鳥取県震災に強いまちづくり促進事業」の補助金交付要綱の一部改定にともない、本市も要綱改定を行うとの説明がありました。

委員からは、居室単位の改修、耐震ベッド、耐震シェルターなど新設事項の周知・啓発方法について、質疑がありました。

## 【予算委員会】

「立地適正化計画策定事業」

令和7年度策定に向けた検討委員会の開催および検討業務の委託経費として説明があり、立地適正化計画のスケジュールや検討委員会メンバーについての質疑がありました。

「小学校空調設備改修事業【財源振替】」

算定方法の間違いによるもので、庁内でのチェック体制構築を求める意見がありました。

「中海・宍道湖・大山圏域市長会特別負担金（環日本海定期貨客船運航支援）」

韓国との定期貨客船を運行する船会社への運行経費支援の各自治体の負担割合についての質疑がありました。

また、船会社への直接支援には賛同できないという意見もありました。

# 令和6年4月臨時会・6月定例会 (議決結果・令和6年度補正予算)

境港市議会では、4月12日に臨時会が開かれ、続いて6月3日から23日間の会期で6月定例会が開かれました。「令和6年度境港市一般会計補正予算」など予算4議案、「境港市印鑑条例の一部を改正する条例制定について」など条例5議案、人事その他17議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

また、提出された「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情」など陳情4件は、審議の結果、採択は1件、不採択は3件となりました。委員会提出議案「地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について」は、原案のとおり可決されました。

議決結果はP4、P5に掲載しています。また、市議会ホームページでもご覧いただけます。このたび可決した一般会計補正予算から主な事業を下段で紹介します。



## 児童手当支給事業

令和6年10月から児童手当の支給対象者と支給額が拡充するため、扶助費などを増額する

1億319万円



## 定額減税補足給付金給付事業

定額減税の効果を十分に得られない納税義務者に対し、定額減税控除不足額を給付する

2億8,438万円



## 立地適正化計画策定事業

持続可能な都市経営のための「コンパクトなまちづくり」に向けた基本計画である立地適正化計画の令和7年度策定に向けた、検討委員会の開催と検討業務を委託する

794万円



## 中海・宍道湖・大山圏域市長会 特別負担金 (環日本海定期貨客船運航支援)

境港市と韓国・東海(トンヘ)市を結ぶ国際定期貨客船を運航する韓国の船会社に対し、圏域市長会から環日本海経済活動促進協議会を通じて交付する運航支援金の一部を負担する

645万円

# 議会改革推進特別委員会報告

本市議会では、「境港市議会基本条例」を踏まえ、『市民にひらかれた議会』『政策形成と行政のチェックの機能の充実をはかる』ことを主たる目的として、平成26年度に議会改革推進特別委員会を設立し調査・研究、議論を行っています。

そこでの議論の中から、現在、主に取り組んでいる課題について、3点、進捗状況しんちよくと合わせてご紹介します。

## 1 広聴(多様な意見を市政に反映させるため)の場の構築について

「市民と議会の懇談会」について

広く市民の意見を議会活動に反映させることを目的に、「市民と議会の懇談会」などの懇談会を開催しています。今年度の開催にあたって、従来からの課題である、より多様な意見をもった市民が、より参加しやすい場となるよう、休日の日中に開催します。

また、懇談会での意見が、現議員の残りの任期の間(令和8年2月まで)に、政策提言につながっていくよう、常任委員会で取り組む課題の中から、1つずつテーマを選び、意見交換をしていくこととしています。(懇談会の詳細については、P19をご覧ください)

## 2 政治倫理について

「ハラスメント防止対策への取り組み」

政治分野における男女共同参画の推進の取り組みとも関連して、広くハラスメント防止への意識の醸成じょうせいをはかるため、本市議会議員を対象としたハラスメント防止対策研修会を8月に開催する予定としています。

## 3 議員定数および議員報酬について

「議員定数と議員報酬が適切か」

本市議会では、平成30年の市議会議員一般選挙が、市政始って以来、初めて無投票となったことから、市議会のあり方を考えるため、市民アンケートを実施。議員報酬や、議員定数に対しても多くの意見が寄せられたことから、議員定数と報酬について、議論を重ねています。

議員定数については、令和4年2月の市議会議員一般選挙から定数を1名減らし、現在15名の議員で議会運営を行っています。

議員報酬については、新型コロナウイルス感染症の流行による市民生活への影響を考慮し、その対策や対応への議論をすることが、この議論よりも優先度が高かったことから、報酬についての議論をいったん中断していました。現在は、それによる経済的影響も終息しつつあることから、市の財政状況、将来見通し、社会経済情勢、市民の意見などを論点として、議論を行っています。

賛成：○ 反対：× 継続審査：△ (注) 賛否状況は全て案件に対する各議員の賛否状況を記載しています。

自由未来						きょうどう					境港市議会公明党議員団		無所属	
荒井秀行	永井章	加藤文治	吉井巧	松本晶彦	伊藤康弘	岡空研二	米村一三	森岡俊夫	平松謙治	柊康弘	田口俊介	足田法行	景山憲	安田共子
○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
×	議長	×	×	×	×	△	○	○	○	○	×	×	○	○
×	議長	×	×	×	×	△	△	△	△	△	×	×	○	○

## 令和6年4月臨時会・6月定例会 議決結果一覧表【全会一致で議決したもの】

会議	提出者	区分	番号	案 件 名	議決結果
4月臨時会	市長提出議案	条 例	第29号	専決処分の承認を求めることについて【境港市税条例の一部を改正する条例（一部改正）】	承 認
			第30号	専決処分の承認を求めることについて【境港市国民健康保険税条例（一部改正）】	承 認
		その他	第31号	工事請負契約の締結について【文化ホール改修工事（建築）】	原案可決
6月定例会	市長提出議案	人 事	第32号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
			第33号	固定資産評価員の選任について	同 意
			第34号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第35号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第36号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第37号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第38号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第39号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第40号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第41号	農業委員会委員の任命について	同 意
			第42号	農業委員会委員の任命について	同 意
		予 算	第43号	令和6年度境港市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
			第45号	令和6年度境港市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
			第49号	令和6年度境港市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
		条 例	第46号	境港市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
			第47号	境港市地方活力向上地域等における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
			第48号	境港市土地貸付及び譲渡の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
		その他	第50号	工事請負契約の締結について【芝污水幹線築造工事】	原案可決
			第51号	工事請負契約の締結について【清水町汚水枝線（その1）工事】	原案可決
			第52号	工事請負契約の締結について【市営住宅誠道団地建替第4期工事(建築)】	原案可決
			第53号	新たに生じた土地の確認について	原案可決
第54号	町の区域の変更について		原案可決		
委員会提出議案	第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決		
陳 情	第9号	地方財政の充実・強化を求める陳情	採 択 意見書提出		

※このほか報告が13件ありました。

## 令和6年6月定例会 議決結果一覧表【賛否の分かれたもの】

会議	提出者	区分	番号	案 件 名	議決結果
6月定例会	市長	予 算	第44号	令和6年度境港市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
		陳 情	第6号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情	不採択
			第7号	複合災害時に対応した「原子力防災ハンドブック」の改訂を鳥取県に求める陳情	不採択
			第8号	島根原発2号機の再稼働の延期を求める陳情	不採択

# 市政を問う

議員12人が一般質問を行いました。

ページ	質問事項	質問議員	ページ	質問事項	質問議員
6	①市内の樹木などの管理体制や関連情報の周知について	伊藤 康弘	11	①災害廃棄物処理計画策定に向けての状況および具体的内容について ②境港市子ども・子育て支援事業計画(第二期計画)策定に向けて	景山 憲
7	①市の安全・暮らしを守る対応を求める～美保基地への米軍機の飛来、大阪・関西万博への小中学生の教育研修について ②島根原発2号機稼働の判断について ③保育のあり方について	安田 共子	12	①地域経済の活性化策について ②ふるさと納税について	米村 一三
8	①快適な生活環境づくりについて～飼い犬のふん害について ②快適な生活環境づくりについて～ごみ分別アプリ「さんあーる」について	松本 晶彦	13	①公共施設について ②夕日ヶ丘団地事業について	平松 謙治
9	①医療と介護の連携と医療DXについて ②防災力の強化について～防災アドバイザー活用と原発災害避難計画について	足田 法行	14	①公共施設などのあり方と活用について ②立地適正化計画について	加藤 文治
10	①住宅弱者への支援と課題について ②子どもにやさしいまちづくり事業の推進について	田口 俊介	15	①西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設意見調整委員会の結果について ②「第15回みなとオアシスSea級グルメ全国大会」について	森岡 俊夫
			16	①本市の水産業について ②市職員の働き方について	終 康弘
			17	①水木しげる記念館と平和学習について ②スポーツ広場の整備管理について	吉井 巧

紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。  
議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

## 民法第233条 改正後の広報状況は

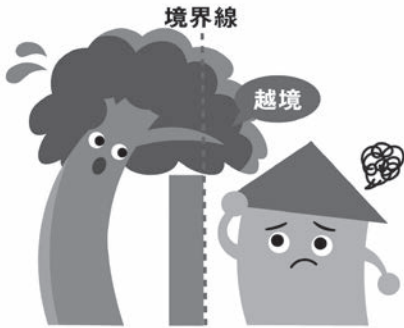
市長

市報では1回のみであり  
今後周知に努めたい

「伊藤」「民法第233条」の改正は昨年4月1日からであるが、広報として



会派 自由未来  
伊藤 康弘 議員



境界線を越えた樹木  
(イラストはイメージです)

「市長」「民法第233条の改正」の制度紹介は昨年市報7月号内のみで、繰り返しの周知を行っていませんでした。樹木の越境の相談が一定数あることから、本改正内容の周知不足を感じており、ホームページや公式ライ

「伊藤」宅地や道路など樹木の越境パターンはさまざまであるが、職員の対応状況をうかがう。「市民生活部長」パートナーによって対応する担当部署が異なるため、その場合は庁内で調整し、適切な対応を行っている。

「伊藤」宅地や道路など樹木の越境パターンはさまざまであるが、職員の対応状況をうかがう。

「伊藤」宅地や道路など樹木の越境パターンはさまざまであるが、職員の対応状況をうかがう。

# 危険な大阪関西万博はありえない



無所属（日本共産党）  
安田 共子 議員

教育長

## 中学校の修学旅行で検討中

【安田】美保基地を米軍機がたびたび使用することがあってはならないのでは。

【市長】基地機能変更はないと考えられる。不安に感じる声もあるため、国へ安全確保への配慮、日米地位協定の見直しを求めている。

【安田】メタンガス発生など危険な大阪関西万博への教育研修はありえない。

【教育長】中学校の修学旅行で万博見学を検討している。事故などがあった場合には、万博の開催状況を確認しつつ、対応していく。

## 国、中国電力への照会の目的は

市長

### 今の状態でいいのかを確認するため



原発の危険性を知って  
災害に備えましょう

【安田】原子力防災について自治体の責任が大きい。認識は。

【市長】避難計画については、毎年の避難訓練をしながら、不断の努力をして改善する。実効性を高めるため、計画を市民に広く理解してもらいたい。

【安田】知事・米子市長と連名でおこなった、国・中国電力への照会の目的は。

【市長】原発の稼働に同意しているのので、能登半島地震を受け、今の状態での受け、今の状態でいいのか確信が持てなければ先に進めないということだ。

## 保育園の統廃合は情報提供で協議を

市長

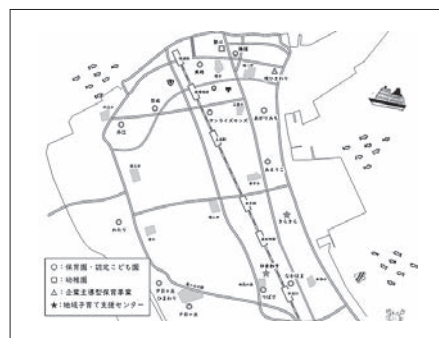
### 保護者アンケートを実施し、民間園と協議

【安田】保育園の規模改修の状況は。

【市長】築40年を超えた民間施設3園のうち、1園は国の交付金を活用して大規模改修をおこなった。あとの2園もこの交付金を活用して改修されると考える。

【安田】統廃合についての検討は、保護者、市民へ情報提供しながら協議を。

【市長】一昨年、保護者アンケートを実施した。保育の量やニーズに対し、現在の施設数で良いのかなど民間事業者から意見をいただいているところである。



境港市内保育・教育施設一覧  
（境港市保育園・幼稚園ガイドブックより）

# 飼い犬の ふん害について問う

市長

原因者に直接指導を行っている



本市の啓発看板



会派 自由未来

松本 晶彦 議員

〔松本〕朝と夕方に犬を散歩されているほとんどの方がふんを処理するための袋を携帯されている

〔市長〕本市では、「境港市飼い犬ふん害等防止条例」を制定しており、相談を受け際には、現地を確認し、ふんを回収、希望があれば、注意喚起の看板を提供している。原因者が特定され、繰り返し

れる場合は直接指導を行っている。  
〔松本〕路上に放置されるふん害をなくそうと「イエローチョーク作戦」という取り組みが全国160以上の自治体や団体が試している。市に寄せられる、苦情を精査し、対策の一案として、取り組みではどうか。  
〔市民生活部長〕実施を検討する。実態を調査の上、効果を確認してみたい。

# ごみ分別アプリの利用状況は

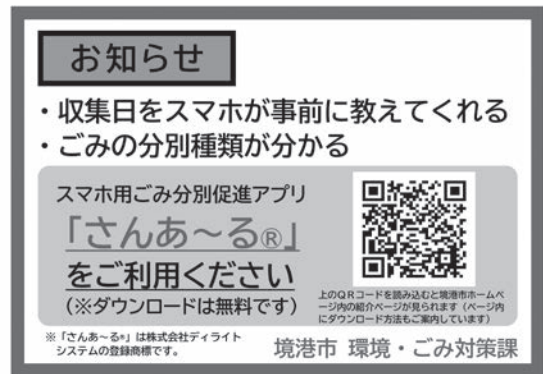
市長

出前講座などで普及促進をはかっている

〔松本〕本市で導入しているごみ分別促進スマートフォンアプリ「さんあ〜る」について、現在の加入率・利用状況をうかがう。

とができる。日本語とベトナム語に対応している。  
毎月の市報、ゴミ分別カレンダーなどや指定ゴミ袋の外装にQRコードを印刷、機会をとらえて出前講座で周知して普及促進をはかっている。これまで月平均で約70人の登録があり、本年度、5月末で、968人の方

に利用されている。加入率は、1世帯で1名の方が利用しているとして、全世帯の約6.2%となる。  
〔松本〕高齢者向け、外国人向けのスマートフォンアプリ講習会を本市主導で取り組んではどうか。  
〔市長〕どのようにしたら周知がはかれるか、内部で研究してみたい。



スマートフォンアプリ「さんあ〜る」PR用看板



# 認知症での医療と介護連携の推進は

市長

情報の啓発と医療介護の連携強化に努める



早めの相談・受診を

〔足田〕認知症対応で、診断体制の充実、医療機関内の連携、医療と介護連携の推進が必要なのは。



公明党

足田 法行 議員

〔市長〕認知症に関する相談は、地域包括支援センターに多く寄せられている。現在実施しているフレイルチェックの中に、「物忘れが気になりますか」と聞く項目があり、そこにチェックがある方には、保健師が声をかけ、様子をうかがうなど早期に対応し、受診につなげている。今後も専門医による認知症講演会を開催するなど、早めの相談・受診につ

ながるための情報を広く啓発することも、医療と介護の連携強化に努める。〔足田〕認知症の人の安全を確保し、その家族の身体的・精神的負担の軽減をはかるため、GPS機器の購入などにかかる費用の助成を本市も導入すべきでは。〔福祉保健部長〕GPS機器の購入などの費用の助成を実施している米子市の状況を注視したい。

# 気象防災アドバイザーの運用方法は

市長

防災講演会や職員研修の講師をしてもらう

〔足田〕気象防災アドバイザーは、平時には、防災気象情報の読み解き方法などについて自治体職員や住民に対し継続的に解説する。災害時には、自治体の災害対策本部などに駐在

し、幹部職員を含む防災業務を担う職員に対して、地域特性を踏まえた気象解説を実施する。気象台と異なり、地方公共団体側のスタッフとして防災業務を直接支援する。米子市の配属だが、どのような運用方法が可能か、うかがう。

〔市長〕米子市気象防災アドバイザーは、災害時、米子市の災害対策業務に専念するので、本市での活用は困難だが、平時には、気象や防災の知見を活かした防災講演会や職員研修での講師として協力をしてもらえる。現状、災害時には、鳥取気象台から必要に応じて、情報連絡員の派遣があり、平時には、イベントへの参加、講師として協力してもらっている。



気象防災アドバイザー

# 入居者の変化に 応じた柔軟な対応を

市長

寄り添った対応が  
できるようにしていきたい



「住宅弱者」の  
セーフティネットとしての  
公営住宅

〔田口〕市営住宅に  
独居で入居中の方  
が、収入減のため  
生活保護となり、そ



公明党  
田口 俊介 議員

の後、介護施設へ入  
所されることになっ  
た。その際、退去に  
あたつての費用を即  
金で支払うよう求め  
られたが、生活保護  
を受給している状態  
では支払う原資がな  
く、当初の入居時に  
納めていた敷金での  
清算を求めたが、敷  
金は退去費用を支  
払った後に返金する  
と言われたという、  
相談を受けた。

今回の対応は、基  
本的には市のルール  
に沿ったものだと思  
うが、今後このよう  
に世帯構成や収入の  
状況が入居時から変  
化するにあわせ、柔  
軟な対応を取るこ  
とも考えられるべき  
と思うが。

〔市長〕入居者の状  
況が変わることを市  
としても早期に把握  
し、対応しないと入  
居者が困ることにな  
る。入居者が気軽に  
市に連絡できたり相  
談できる関係を作っ  
て早期に寄り添った  
対応ができるように  
していきたい。

〔田口〕令和5年4  
月に施行されたこと  
も基本法において、  
都道府県と市町村に  
国が定めたことも大  
綱を勘案して「自治  
体子ども計画」を作  
成する努力義務が課  
せられている。こと  
も大綱は子ども・若  
者の健やかな成長へ  
の支援、少子化対策、

# 子どもが住みたいと 思えるまちを

市長

子どもが参画し、  
住みたいまちをめざす

子どもの貧困対策な  
ど幅広い子ども政策  
に関する基本的な方  
針と重要事項を一元  
化したもので、自治  
体子ども計画に位置  
付けた事業は、こと  
も・子育て事業債の  
対象となる。この自  
治体子ども計画作成  
について、県および  
本市の対応は。

〔福祉保健部長〕子  
ども計画について県  
は令和5年度に策定  
した。本市について  
は来年度から策定す  
る第三期子ども子育  
て支援事業計画をス  
タートさせた後に、  
早い段階で子ども計  
画に移行したい。

〔市長〕子ども計画  
に向けては、子ども  
の声を聞きながら作  
るのがベスト。子ど  
もが参画し、住みた  
いまちにしたい。



わがまちの「未来の主演」たちの声を  
まちづくりに活かそう！

# 廃棄物処理計画に最大想定を反映を

市長

計画では最大21万トンを想定



鳥取県西部地震の際の  
災害廃棄物処理作業の様子



無所属

景山 憲 議員

〔景山〕災害から早期に立ち直り、市民生活を取り戻すため、大規模災害発生時、

倒壊家屋の廃材、コンクリート片、生活用品など大量の廃棄物処理が必要となる。廃棄物の仮置き場の確保や管理、廃棄物の分別、最終処分場の場所など、長い時間と経費を要する。災害廃棄物処理計画が策定されるが、被害想定・廃棄物の量の概要、早期に設置できる仮置き場は何か所かをうかがう。実効性ある計画となることを期待する。

〔市長〕鳥取県災害廃棄物処理計画では、鳥取県西部地震を上回る震度7を最大想定とし、地震の場合には災害廃棄物約7万トン、津波をともなう場合は21万トンを想定している。策定予定の「境港市災害廃棄物処理計画」では、県が想定する災害廃棄物の発生量を参考に検討する。仮置き場は、清掃センター跡地などを想定している。

# 子育てするなら境港に向けた施策を

市長

子どもの視点を重視する施策とする

〔景山〕本市の子ども・子育て支援第三期計画策定に向けて、現行の第二期計画の成果はどのように評価しているのか。また、子育て世帯の移住・定住促進に向けての施策の成果についての評価をうかがう。これまでの成果を第三期計画に反映

されるべき課題をうかがう。今後の一連の取組により「子育てするなら境港」となるよう、子育て環境が充実し移住・定住にもつながることを期待している。

〔市長〕第二期計画では、多子化世帯に特化した経済的支援により第3子以降の児童の割合が増加したなど計画目的は、ほぼ達成したと考えている。また、「境港市新しいふるさとでのライフステージ支援補助金」を創設した。令和4年度は3世帯8人。5年度は5世帯13人が移住された。第三期では「子どもの視点」を重視し、第二期計画を検証し策定を進める。



地域子育て支援センターひまわりでの光景

# 地域経済活性化策の比較検証を

市長

多くの市民の使いやすさを考慮して選択した



会派 きょうどう  
米村 一三 議員

〔米村〕本市では「第3弾さかいみなと応援券」事業が2月末まで展開され約1億6300万円の

消費が市内の店舗で発生した。利用店舗はスーパーストアが上位にランクされていることから日常の消費が応援券に置き換わったのではとも推測される。近隣の自治体では「プレミアム還元セール」が展開されており、還元率からすると本市の5倍または、10倍の消費行動が発生するとも想定できる。効果の比較検討が必要と考える。



「さかいみなと応援券」の利用実績はスーパーストアが上位を占めた

〔市長〕米子市・倉吉市で実施された「還元キャンペーン」は予算額以上に消費活動が大きくなるが、スマートフォンを使わなければ還元制度を利用できず、一部の人には利用しにくい側面がある。本市の応援券制度はより多くの方に利用された。スマートフォンを使ったキャッシュレス決済サービスの普及状態などを参考に比較検討したい。

# ふるさと納税実績拡大の検討を

市長

新たな境港産返礼品の強化とPRに取り組む

〔米村〕令和5年度の本市のふるさと納税実績は、前年実績を約3千8百万円下回る結果となった。本市と同じ様な規模の茨城県境町では約90億円ものふるさと納税実績があり、財政再建に目途がつき、魅力あるまちづくりを進めている。今後のふるさと納税

拡大策をどのように推進するのか。〔市長〕本市においても、魅力ある返礼品を増やすことが重要と考え、返礼品の新規開拓などの取り組みを強化している。返礼品は345品目で、67事業者より提供されている。前年に比較し、100品目、11事業者が増加している。



ふるさと納税返礼品の今年のカタログ

茨城県境町などの先進自治体の取り組みも参考にして、境港サーモン・松葉がなどの返礼品に続く、魅力ある返礼品の開拓に努める。また、生産者の生の声により返礼品を丁寧で紹介し、全国に境港産返礼品のPRを積極的に行い、寄付額の増加をはかる。

©水木プロ

# 庁舎建て替え 市民の問題意識醸成を



会派 ぎょうどう  
平松 謙治 議員

〔平松〕市役所本庁舎は、昭和36年に建てられ、平成22年に

市長

基本的な方針を定める際  
市民意見を聞きたい



昭和36年に完成した市庁舎  
「境港市制50周年記念写真集」より

は耐震補強工事により延命化をはかった。しかし、建設から60年以上が経過し、今後、建て替えについても考えなければならぬ。優先順位として、小中学校の再編を含めた校舎建て替えの課題もあるが、市庁舎建て替えの課題についても、建て替えの是非を含めた市民への問題意識の醸成が必要と考える。そこで市庁舎建て替えについ

て市内での議論の状況はどうか。  
〔市長〕令和4年度に3回、作業部会を開催し、建て替えの時期や場所・費用について協議した。具体的な方針や内容の決定には至っていない。このことは、本市の将来に大きく影響する重要な事業であり、庁内で課題を整理し、基本的な方針などを定める段階で議会や市民の意見を聞きたい。

〔平松〕平成17年度の個別外部監査により、夕日ヶ丘団地造成に係る市と土地開発公社の巨額な借入金問題が明らかになった。後に市では、公社への無利子貸付による金利対策や定期借地権制度導入による宅地分譲を進め

## 夕日ヶ丘団地事業の総括を

市長

目的は果たせた  
残された課題解決に務める

た。宅地分譲がほぼ終わった今、この事業に対する総括を。  
〔市長〕事業着手より27年経過し、商業施設や公園などの公共施設が整備され、移住定住により、783世帯2185人が居住する快適な住環境が形成され、当初の事業の目的を果たすことができ



監査人が「二つの財布」「隠れ事業費」と指摘した夕日ヶ丘団地事業に関する境港市個別監査結果報告書（平成17年度）

た。また、用地取得に起因する借入金もピーク時の57億円から27億円にできた。しかし、土地開発公社には、多額の借入金が残る。今後も残された土地の処分や事業用借地用地への企業誘致に努め、市と土地開発公社を一体的に考えた財政運営に徹していく。

# 文化財になりうる 建造物の活用は

教育長

## 境港市文化財保護審議会の 意見を聞く



会派 自由未来  
加藤 文治 議員

【加藤】市の所有する建物について、文化ホールのような文化財になりうる建造

物を、保存・活用する考えはないのか。また、旧誠道小学校体育館は市民の財産。雨漏りで簡単に撤去してよいのか。市内小学校に設置されるジエンダールストイレに、教育的問題がある場合、早急に廃止の検討をする考えはあるのか。

旧誠道小学校体育館は、改修維持費用が多額になることから、解体を視野に検討を行った。解体は、地元や利用団体の同意を得たうえで、施設の貸付先のSC鳥取にも確認し、議会にも確認を得ている。ジエンダールフリートイレは、男女別トイレに変更もできる。それを活用し、発達段階に応じた人権・性教育への理解を進めることは、教育的効果は大きい。



回廊の解体が進む文化ホール

# 立地適正化計画の 方法と工程は

市長

## 令和7年度末までに 計画を策定する

【加藤】立地適正化計画は居住機能や福祉・医療・商業などの都市機能の立地、公共交通などに関する包括的なマスタープランである。都市計画区域全体を立地適正化計画の区域とすることが基本となる。土地の利用状況や日常生活圏などを勘案して都市

計画区域内の一部を計画区域とし、住民への説明状況などに応じて段階的に計画区域を設定することもできる。立地適正化計画を策定するにあたっての方法と工程をうかがう。また、都市計画区域全体なのか、段階的なのかうかがう。



活用されない土地の現状

【市長】本年度から都市整備課に都市政策・まちづくり専任職員を配置し、計画作成のノウハウを持つコンサルタントのサポートのもと令和7年度末までに計画を策定する。また立地適正化計画は都市計画区域全体での策定に向かうこととしている。

# 西部広域調整委員会 結果の認識は

市長

審議のやり直しなど  
しんし  
真摯に受け止めている



民間の焼却プラント



会派 きょうどう  
森岡 俊夫 議員

【森岡】用地選定委員会の委員の中に利害関係者が入っていたことにより、公平

性が保たれていないと判断され、第三者委員会の設置を言及された。9回の用地選定委員会が非公開で行われるなど透明性も不十分だったのではと思う。正副管理者会議の中で、透明性確保の観点から公開を、提案してはどうか。

管理者会議で検討したい。  
【森岡】このことにより、現在組まれたスケジュールが後ろにずれ込むことが心配されるが。  
【市長】きちんと最初から審議をしてもらいたい。  
【森岡】将来の負担を考えて、ゴミの減量化・資源化をはかり、計画の中身の再検討が必要では。  
【市長】減量化・資源化など会議の中で提案していく。

# Sea 級グルメ全国大会の 継続性を

市長

関係団体と連携した  
イベント開催を検討する

【森岡】第15回みなとオアシスSea級グルメ全国大会を一度性のイベントで終わらせず、継続性を持たせては。  
【市長】「にぎわい創出」と「海の環境保護」のテーマを継続して発信する。  
昨年「さかい夢み



第14回  
みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 沼津  
の様子

【森岡】第15回みなとオアシスSea級グルメ全国大会を一度性のイベントで終わらせず、継続性を持たせては。  
【建設部次長】平成25年に立ち上げたが、現在、運営委員会の組織化はできていない。  
【森岡】組織化も課題だと認識する。今

【森岡】みなとオアシス境港運営委員会の活動状況は。  
【建設部次長】「さかい夢みなと朝市」などのイベントを、市が組織化をして運営していくのがよいが、市から実施団体へ後方支援していくのがよい。今後、検討したい。

# 再度、箱代補助の検討を求める

**市長** 国の基金を活用して実施する



中野港の沿岸漁業船

【柁】中野港を拠点とする沿岸漁業者は個人事業主であり、箱代の負担が大きい



会派 きょうどう  
柁 康弘 議員

ため以前に補助を検討された際、より有利な補助制度があるのではと案内されたとのことだが、利用実績はどうなっているのか。

【市長】令和4年10月から令和5年2月までの間、燃油や価格高騰の影響により営業利益が減少する事業者を対象とした「境港市事業者価格高騰対策支援金」の給付事業は、個人事業主も対象となること

業主も対象となることから、漁業者にも申請の案内をしたが実績は4件に留まっている。

【柁】再度、箱代の補助を検討しては。

【市長】国の基金を活用して実施する補助金を活用し、市内の漁業関係者と行政で組織する「境港市地域水産業再生委員会」が、箱代の補助などの支援を実施することになっている。

# 最も多い時間外労働は何時間なのか

**市長**

最も多い職員は月に198時間である

【柁】本市職員に恒常的な時間外労働があるのであれば、職員を増員して対応すべきではないか。

【市長】恒常的な時間外勤務の発生している部署があることは承知しており、適宜、人事異動や会計年度任用職員の配置などで対応して

いる。引き続き各部署の業務内容や業務量などを把握した上で、全庁的な視点から、喫緊の課題や多様化する市民ニーズに対応できるよう人員配置を行う。

【柁】令和5年度において過労死ラインと言われる月100時間を超える時間外労働をした職員は、何人いたのか。



夜遅くまで明かりの灯る市役所本庁舎

【市長】延べ18人だ。

【柁】一年間の時間外労働が一番多かった職員は何時間だったのか。

【市長】年間時間外勤務が一番多かった職員の実施時間数は992時間である。

【柁】今年度に入ってから一番多いのは月に何時間だったか。

【市長】4月に198時間である。



# 水木しげる記念館で 平和学習を

市長

## 平和学習の際の入館料や 移動手段を支援する



© 水木プロ

4月20日にリニューアルオープンした  
水木しげる記念館

【吉井】水木しげる  
記念館がリニューアル  
オープンし、多く  
の来場者で賑わって



会派 自由未来

吉井 巧 議員

いる。展示の中には、自身の壮絶な戦争体験を水木先生の独特なタッチで描いた作品があり、戦争体験であっても、どこことなく温かみを感じた。市内小学校の平和学習のひとつとして、水木しげる記念館での平和学習が行えるように、市として支援できないか。

【市長】昨年度、出前授業で行った、平和学習プログラム「水木しげるが見た戦場」どんなにつらくても、己の道を進む」を、本年度は記念館多目的ホールで実施し、先生の作品に直に触れることで、子どもたちが戦争の悲惨さをより一層身近に感じ、平和の尊さについて考えてほしい。今後は、市内小中学校のより多くの児童・生徒に平和学習のひとつとして、記念館でこのプログラムを受講できるように、入館料や移動手段について支援していく。

# スポーツ広場の 整備管理は適切か

教育長

## 管理者と協議し、 より適切な管理に努める

【吉井】境港市営電ヶ山球場の改修にともない、毎年開催している学童野球大会の代替球場として使用した市民スポーツ広場だが、野球を行うにはとても危険なグラウンド状況であった。後日、チーム関係者に確認したところ、ケガはなく安心

したが、本市として、スポーツ広場Aコートの整備現状を把握できているか。

【教育長】先月18日に学童野球大会が行われたスポーツ広場Aコートの状況については、芝生は短く刈られ良い状態ではあったが、芝が内野部分まで浸食している状況であった。

同様の質問をしたが、この1年間指定管理者と整備管理について、どのような協議をしてきたか。

【教育長】浸食した芝の除去について、専門家の意見も聞き、協議を行っている。使用頻度にかかわらず、子どもたちが安心安全に利用できるよう、適切な維持管理に努める。



管理の行き届いていない  
境港市民スポーツ広場 A コート

# 総務民教委員会 行政視察

## ■ 参加者

平松 謙治 (委員長)、加藤 文治 (副委員長)、伊藤 康弘、岡空 研二、森岡 俊夫、足田 法行、安田 共子

## ■ 日程 7月8日～10日

## 視察先および内容

### ○ 東京電力福島第一原子力発電所(双葉郡大熊町)と東京電力廃炉資料館(双葉郡富岡町)

発電所の事故の経緯、廃炉に向けた動きなどの説明を聞き、発電所の1～4号機が間近に見える地点へ移動した後、多核種除去設備(以下、「ALPS」)などを見学し、廃炉に向けた現況を再確認しました。



### ○ 楡葉遠隔技術開発センター(双葉郡楡葉町)

国立研究開発法人日本原子力開発機構に属する福島廃炉安全工学研究所の施設としての活動内容の説明や、最新の試験設備であるロボット性能評価のための要素試験エリアなどを見学。バーチャルリアリティ(以下、「VR」)システムを使っての第一原発2号機の内部のVR体験もしました。



### ○ 福島県水産事務所・いわき農林事務所(いわき市)

「福島県の水産業、農業における原発事故の影響と対策について」緊急放射線モニタリング、出荷制限、就業者の推移、水揚げ量や農業産出額の推移、付加価値向上、販路回復・拡大などのほか、水産業においてはALPS処理水海洋放出への対応と影響などについて、福島県水産事務所、いわき農林事務所の各担当職員より説明をいただき、質疑応答で理解を深めました。



### ○ まとめ

東日本大震災から13年経ちましたが、廃炉に向けた動きや原子力事故を後世に伝えるということに対して、改めて強い関心を持つ必要があると感じ、楡葉遠隔技術開発センターでは、デブリの除去を含めた廃炉に対して総力を結集して、弛まぬ努力をされていることがよく分かり、研究所の活躍に大いに期待したいと思いました。

また、原発事故による農林水産業への影響の大きさや、水産業・農業従事者を中心に官民挙げての努力の成果が現れている状況をうかがい、希望の光を見出す思いで福島の人々が頑張っていることを知ることができました。

令和6年

—— 境港市議会 主催

# 市民と議会の懇談会

～ 聞かせてください あなたの声 ～

## 内容

1. 議会報告
2. テーマ別意見交換（グループワーク）

### テーマ①

#### 「公共施設について」

・教育施設、市役所庁舎 など



### テーマ②

#### 「地域公共交通について」

・はまるーぷバス  
・AI デマンド交通  
・タクシー など



今年度の「市民と議会の懇談会」は、市政の2つのテーマに沿って、グループ毎に皆さんと意見交換を行います。日ごろ感じているご意見や疑問点、市議会へ望むことなど、じっくり時間をかけて、意見交換いたします。暑い中ではございますが、皆様お誘いあわせの上、ぜひお出かけください。

## 開催日程・会場

令和6年(2024年)8月25日(日)  
13:00～16:00

会場：みなとテラス（市民交流センター）2階 大会議室

境港市上道町3000番地

申込方法：氏名・連絡先・参加したいテーマを下記【お問い合わせ先】にご連絡いただくか、右のQRコードから、お申し込みください。

※当日参加可能。但し、事前申し込み多数の場合は、お断りする場合がございます。



<https://www.city.sakaiminato.lg.jp/>

境港市議会

検索

【お問い合わせ】境港市議会事務局

電話：(0859)47-1097 ファクシミリ：(0859)47-1110

メール：gikai@city.sakaiminato.lg.jp



いちめん 2023年7月 撮影:竹田 誠司 様



幸神町有志による美保湾清掃 2024年6月 撮影:足立 勝美 様

あとがき

新メンバーでの広報部会により、2度目の  
発行となります。広報部会は境港市議会  
基本条例にもとづき、議会広報の充実をはか  
るために議会報やフェイスブックなどの管  
理運営を行っています。この議会報の記事は  
各議員が定められた文字数で作成し、広  
報部会では議会で定めた言葉、つかい表記に  
従って校正しています。各議員とも定められ  
た文字数で表現する困難さに、頭をひねっ  
ております。市民の皆さまには分かりやす  
く伝えるため、広報部会で何度も校正を重  
ねて議会報がでています。

ところで、本年は市長選挙の年であり、  
市政運営のリーダーが選出されました。市議  
会は執行部の市政運営をチェックするとも  
に、適切な政策提言を行う任務があります。  
15人の議員は考え方が異なることも度々  
ありますが、市民福祉の向上との視点で判断  
が下せるよう議論を重ねているところです。  
市民の皆さまからの多くの声が活かせるよ  
うな議会になろうと各議員が活動を重ねて  
います。そのためにも議会の活動をより多く  
伝えるよう努めます。  
(米村)

【発行責任者】

議長 永井 章

【広報部会】

部長 足田 法行

副部長 松本 晶彦

伊藤 康弘

柁 康弘

米村 一三